

## プレス発表資料(お知らせ)

平成19年11月15日  
独立行政法人 防災科学技術研究所

### 火山災害の軽減のための方策に関する国際ワークショップ 2007 噴火未遂事象に学ぶ Workshop on Strategy of Volcanic Disaster Mitigation 2007 - Case studies on the attempted eruptions -

独立行政法人 防災科学技術研究所(理事長:岡田義光)は、山梨県環境科学研究所と共催で「火山災害の軽減のための方策に関する国際ワークショップ 2007 噴火未遂事象に学ぶ」を下記の通り開催いたします。

#### 「2000年富士山低周波地震活発化と噴火未遂」

1. 日 時 平成19年12月16日(日) 13:30~17:30
2. 開催場所 山梨県環境科学研究所 多目的ホール  
(〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾 5597-1)
3. 定 員 130名(申込順)

#### 「海外・国内の噴火未遂事象に学ぶ - どのように対応するか、判断するか? - 」

1. 日 時 平成19年12月18日(火) 09:30~16:00
2. 開催場所 防災科学技術研究所 研究交流棟 和達記念ホール  
(〒305-0006 茨城県つくば市天王台 3-1)
3. 定 員 200名(申込順)
4. 主 催 山梨県環境科学研究所・(独)防災科学技術研究所
5. 後 援 気象庁・内閣府・文部科学省・日本火山学会・富士山火山防災協議会(予定)
6. プログラム 別紙のとおり
7. 参加申込 ご氏名・ご所属・参加希望日(16日・18日)を明記の上、メール(kazan-ws07@bosai.go.jp)もしくはお電話・FAXにてお申込ください。
8. 参加費 無料
9. その他 同時通訳あり

\* 本件配布先: 文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会

#### (内容に関するお問い合わせ)

独立行政法人防災科学技術研究所  
火山防災研究部 藤田、中村  
電 話: 029-863-7537  
FAX: 029-851-5658

#### (連絡先)

独立行政法人防災科学技術研究所  
企画部広報普及課成果普及係 佐竹、山科  
電 話: 029-863-7783  
FAX: 029-851-1622

火山災害の軽減のための方策に関する国際ワークショップ 2007  
噴火未遂事象に学ぶ

Workshop on Strategy of Volcanic Disaster Mitigation 2007

- Case studies on the attempted eruptions -

開催要項

「2000年富士山低周波地震活発化と噴火未遂」

日時 平成19年12月16日(日) 13:30~17:30

開催場所 山梨県環境科学研究所 多目的ホール

(〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾5597-1)

定員 130名(申込順)

「海外・国内の噴火未遂事象に学ぶ - どのように対応するか、判断するか? - 」

日時 平成19年12月18日(火) 09:30~16:00

開催場所 防災科学技術研究所 研究交流棟 和達記念ホール

(〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1)

定員 200名(申込順)

主催: 山梨県環境科学研究所・(独)防災科学技術研究所

後援: 気象庁・内閣府・文部科学省・日本火山学会・富士山火山防災協議会(予定)

趣旨: 火山防災の行政のあり方について、これまでの世界での例を基に、日本で国・自治体がどのような戦略で臨むべきか

また、学識者がどのように役立つ情報提供をするべきか、政策的・技術的な視点から、よりよい方向性を探る

特に、噴火の前兆現象をとらえながらも、噴火しなかった事例(噴火未遂事象)について、どのような情報発信がなされたか、現場で課題となったことに視点を当てる

プログラム(案:講演者・題目等は変更の可能性があります)

12月16日(日) 山梨県環境科学研究所(山梨県富士吉田市)

「2000年富士山低周波地震活発化と噴火未遂」

13:30 開会の辞 荒牧重雄(山梨県環境科学研究所所長)

13:40 来賓挨拶 (山梨県)

【2000年富士山噴火未遂】

13:50 2000年富士山低周波地震活動活発化に伴う政府としての対応  
荒牧重雄(山梨県環境科学研究所)

14:10 2000年富士山低周波地震活発化(噴火未遂)  
鷓川元雄(防災科学技術研究所)

14:30 2000年富士山低周波地震活動活発化に伴う地元自治体の対応  
真田喜久雄（富士吉田市役所・富士山火山防災協議会）

14:50 ~ 15:00 （休憩）

【各国の噴火未遂事例紹介】

15:00 1．パプア・ニューギニア ラバウル  
Herman Patia（パプア・ニューギニア ラバウル火山観測所）

15:20 2．イタリア カンピ・フレグレイ  
Giovanni Orsi（イタリア国立地球物理学火山学研究所  
ベスビオ火山観測所）

15:40 3．口永良部・桜島  
井口正人（京都大学防災研究所火山活動研究センター）

16:00 4．岩手山 1998年  
齋藤徳美（岩手大学）

【火山情報発信】

16:20 災害心理学の視点から  
広瀬弘忠（東京女子大学）

16:40 ~ 16:50 （休憩）

16:50 総合討論： 司会 荒牧重雄  
富士山火山防災協議会からのご意見  
INS「岩手山火山防災検討会」からのご意見 他

17:20 閉会の辞 志村 充（山梨県環境科学研究所 副所長）

17:30 終了

**12月18日（火） 防災科学技術研究所（茨城県つくば市）**

「海外・国内の噴火未遂事象に学ぶ - どのように対応するか、判断するか? - 」

09:30 開会の辞

09:35 挨拶 岡田義光（防災科学技術研究所理事長）

09:40 開催趣旨 鶴川元雄（防災科学技術研究所）

【午前の部： 噴火未遂事象に学ぶ1】

09:50 ケーススタディ1 ロングバレーカルデラ  
Jake Lowenstern（米国地質調査所イエローストーン火山観測所）

10:30 ケーススタディ2 ラバウル  
Herman Patia（パプア・ニューギニア ラバウル火山観測所）

11:10 ケーススタディ3 カンピ・フレグレイ  
Giovanni Orsi ( イタリア国立地球物理学火山学研究所  
ベスビオ火山観測所 )

11:50 討論

12:15 ~ 13:30 昼休み

【午後の部： 噴火未遂事象に学ぶ2】

13:30 噴火未遂の取り扱い 鍵山恒臣 ( 京都大学大学院理学研究科 )

14:00 新しい「噴火警戒レベル」北川貞之 ( 気象庁地震火山部 )

14:30 ~ 14:45 ( 休憩 )

14:45 総合討論 「噴火未遂からまなぶこと」  
司会 荒牧重雄・鶴川元雄

16:00 閉会の辞

以上